



画期的な技術

近年、人工知能(AI)はビッグデータ処理技術の発展、コンピューター性能の劇的な向上などを背景に、従来は実現が難しかったディープラーニング(深層学習)などの画期的な技術が実用化され、民間では、金融、製造やマーケティング、医療、文書、図表、条例などさまざまな領域において、利活用、導入に向けた取り組みが進められるようになってきた。



国際社会経済研究所 (NECグループ) 主幹研究員

飾森 正

災害や、犯罪事故の予測、対策実施の支援。住民からの非定型な相談問い合わせに対する適切な回答案の提示などである。

効率化に貢献

現在、日本での行政分野へのAI技術の活用は現状では大きく進んでいないと言えないが、18年1月に出された政府のデジタル・ガバナメント実行計画は「利用者が受ける便益を向上させるため、行政サービスをAI等の新技術の導入を積極的

に検討する」と明記している。AIが、業務・サービスの飛躍的けるAI活用、データはAIコンテナミナルの構想を発表している。次回では海外で行われている先進事例を紹介したい。(金曜日掲載)

行政へのAIの活用①

の活用に関する技術」とし、AIを機械学習に限定せず、幅広くとらえて、行政サービスに活用する方針だ。

行政でのAI活用分野

AIの機能	適用業務例
データの判別、仕分、検索など	・収集、把握したデータの分類 ・外国語の翻訳、防犯カメラの画像判定
データに基づく状況の的確な把握	・内容の評価(適否、優先順位付けなど) ・災害時、被災地の画像から被災状況などを把握
将来の動向、変化などを予測	・政策施策の影響や効果の事前アセスメント ・自然災害、犯罪事故などの発生確率の予測 ・観光客の動向を予測し、地域振興策に役立てる
複数の選択肢からお奨めの候補を抽出	・住民の属性やライフイベントなどに合わせ、最適なサービス、手続きなどを選択し、その内容や申請方法を案内 ・人事採用にあたり、最適な人材を抽出 ・職員に最適な研修プログラムの提供
随時変化する状況に合わせて、対応策を判断	・住民と対話の進行に合わせ、柔軟な対応をサポート ・行政計画の執行状況などに合わせ、柔軟な対応策を提示 ・災害時は、被災状況に応じて対応策を提示
作業などの実行(ロボティクス)	・文書、図表、条例案や調達仕様書の案作成 ・作業の自動化、最適化
職員などの知識や知恵(の蓄積)に基づいた判断の案を提示	・住民からの(非定型、複雑な)相談や問い合わせに、適切な回答を提示 ・申請などの内容審査において、適否判断の補助を行う

デジタル変革の推進重要

民間では、金融、製造やマーケティング、医療、文書、図表、条例などさまざまな領域において、利活用、導入に向けた取り組みが進められるようになってきた。

民間では、金融、製造やマーケティング、医療、文書、図表、条例などさまざまな領域において、利活用、導入に向けた取り組みが進められるようになってきた。

導入に課題

AIを行政に導入するに当たっては、課題

導入に課題

AIを行政に導入するに当たっては、課題

(金曜日掲載)